

農林水産物直売所の運営者・出荷者・関係者の皆さん

参加無料

QRコードから、または  
FAXでお申し込み下さい



コロナ禍を超えて、  
直売所が地域活性化の拠点になろう！

令和3年度

# みやざき農林水産物 直売所交流研修会

オンライン参加もできます



2022年

1/26 水

13:30～16:00 (13:00 開場)

場所

アズム  
JA・AZMホール 1階 小会議室

宮崎市霧島1丁目1-1

TEL 0985-31-2000

■申込方法

裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、  
みやざき食と農を考える県民会議事務局  
(FAX0985-26-7332)まで送信してください。  
Google フォームから申し込むこともできます。

## プログラム

■ あいさつ

宮崎県農政水産部農業流通ブランド課長 松田 義信

■ 問題提起

県内の直売所が直面する課題と問題解決の方向性について  
株式会社産直新聞社 代表取締役兼編集長 毛賀澤明宏

■ 事例報告1

生産出荷者への細かな気配りで地域を活性化（仮）

延岡道の駅株式会社（延岡市）代表取締役 高木亨輔さん

■ 事例報告2

豊富な品揃えで地元客の日常生活をサポート

JA尾鈴 産直おおすず村（川南町）店長 阿部泰士さん

■ 事例報告3

リニューアル・経営転換で運営改善

道の駅高岡ビタミン館（宮崎市）駅長 森華恵さん

■ パネルディスカッション

総合司会 道の駅酒谷（日南市）駅長 野邊和美さん

主催

みやざきの食と農を考える県民会議（宮崎県農政水産部農業流通ブランド課）

委託事業者

株式会社 産直新聞社 TEL:0265-96-0938

# 開催趣旨

オミクロン株には十分な注意・対策が必要だとはいえ、長く続いたコロナ禍の暗い闇の先に、少し明るい兆しが見えてきた今日この頃です。地域の農業や加工業、また暮らしや観光の拠点であった農林水産物直売所は、コロナ禍に耐えて蓄えてきた経験をもとにして、さらに大きな発展を目指すべき時を迎えてます。

そのために、来る 1 月 26 日（水）に、直売所の運営改善や売上げ向上を図るために交流研修会を開催します。「売上げ向上」「高齢化対策」「世代交代」「コロナ対策」等をキーワードに、県内の直売所から先進的な取り組みを紹介していただき、情報と経験の共有と意見交換を行います。

長年にわたり宮崎県内ののべ 80 店舗もの直売所を巡回指導してきた産直新聞社の毛賀澤明宏代表による解説とアドバイスもあります。感染対策も考え、オンラインでの参加も可能です。申し込みの際に参加方法をご選択ください。

皆さんの直売所や道の駅の運営に大いに役に立つ内容を用意しますので、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

## 登壇者紹介

問題提起



**毛賀澤 明宏**  
(株) 産直新聞社 代表取締役  
兼 紛糾『産直コペル』編集長



**高木 亨輔さん**  
延岡道の駅株式会社 代表取締役

事例報告 2



**阿部 泰士さん**  
J'A尾鈴  
産直おすぐす村 店長

事例報告 1



**森 華恵さん**  
道の駅高岡ビタミン館 駅長

事例報告 3



**野邊 和美さん**  
道の駅酒谷 駅長

総合司会

## 参加申込

申込期限 2022年1月19日

必要事項をご記入の上、FAX 0985-26-7332 【みやざきの食と農を考える県民会議】

または、右記の QR コード (Google フォーム) よりお申し込みください。



団体名

氏名 (参加される方全員のお名前をお書きください)

参加方法

会場

オンライン

どちらかに○をお願いします

TEL

FAX

住所

Email

御記入いただいた個人情報は、研修会受付の確認のみに利用させていただきます。

問い合わせ

みやざきの食と農を考える県民会議

事務局：宮崎県農政水産部 農業流通ブランド課

TEL:0985-26-7132

FAX:0985-26-7332

宮崎県宮崎市橋通東 2 丁目 10 番 1 号

株式会社 産直新聞社

TEL:0265-96-0938

FAX:0265-96-0939

長野県伊那市荒井 3428-7allla オフィス C